

大門市に行ってきました！



先日、早起きして、7時ごろ大門市に行ってきました。…ですが、「野菜は、ほとんど売れてしまったよ」と大門市の杉山さん。わたしの早起き甘かった！6時ごろからお客さんが並ぶそうです。すごいですね。

この季節は「みずぶき」がイチ押しだよと教わったので、買って帰り、ニシンと煮て食べました。ほんとにしゃきっとした歯ざわりでおいしかったです。

右の緑色のものは、スギナを干したもので利尿作用があり、茶色いものはタラの木の皮で糖尿にきくそうです。煎じて飲むと良いと教えてもらいました。お試しあれ！



ほっぷと 平泉寺こぼれ話 こたえ

中国製青花(染付)皿です



昆虫の他に花などの植物も描いています。今から四百数十年前、平泉寺が天正2年(1574)に焼き討ちを受けるころのものです。

世界遺産へ向けて

白山文化研究会 第1回例会 があります

—テーマ:白山三馬場の最新情報 その1—

日時:7月23日(土)午後1時30分～

場所:勝山市教育会館第1研修室

—報告—

【加賀馬場より】小阪大氏(白山市教育委員会)

【越前馬場より】阿部来学芸員(勝山市教育委員会)

今回の例会では、近年行われた加賀馬場・越前馬場の調査について報告していただきます。

どなたでも聴講できますので、ぜひご参加下さい(聴講無料)。

国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版

No.33 (2011年6月号)

【発行】

勝山市教育委員会史蹟整備課

【発行日】

平成23年6月23日

【ご意見・ご要望は下記まで】

電話:0779-88-8113(直通)

メール:shiseki@city.katsuyama.lg.jp



平成23年度、
発掘調査開始！

30～40年ほど前に埋められた土を取り除くと、大きな石が見えはじめました。今年はどういう成果が掘り出されるのか…。秋までがんばります。

今号の内容

発掘現場通信—平成23年度発掘調査開始— ①～③ページ

平泉寺こぼればなし第26話 ③ページ 世界遺産へ向けて ④ページ

発掘現場通信

今年の発掘調査は、6月より南谷坊院跡の東側で開始しています。今回発掘調査している場所は、「僧坊区画3」です。平成3年度の石畳道発見にはじまり、平成18・21・22年度の調査で、この僧坊の周囲に戦国時代の石垣がみつかりました（平成21・22年度の調査は平泉寺かわら版第24号・29号も見て下さいね）。今年は、この石垣のくずれている部分を調査して、来年度の修復工事に備えたいと考えています。



平成3年度に発掘調査された石畳道に面した石垣です。調査されてから10年ほどたつと、石垣の一部がくずれそうになったため、土のうで止めています。

くずれそうな石垣に、クレパスで番号を書きます。この状態で、石の正確な位置を測量した図面にも番号を入れ、写真もとります。



右上へ



石を慎重にはずしていきます（写真右）。はずした石は土のうを敷いた上に、番号順に整理整頓してならべます（写真左）。来年度の修復工事の時に、写真と図面を見ながら、石をもとあった場所に戻します。

クレパスは、雨でも消えにくいので、どこにあった石かわかりやすいんですよ



写真真ん中奥に見える木の根が石垣をくずしたようです。石垣をふたたびもとに戻せるように、木の根を取りながら、ていねいに発掘調査をしていきます。



ほっぴく 平泉寺こぼれ話 ~第26話~

これは何でしょうか？



平泉寺からの出土品です。

ヒント

白い色をしたやきものに、青い色で昆虫のような絵を描いています。絵の大きさは2センチほど、やきものの厚さは3ミリほどです。

答えは④ページ